【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【公表番号】特表2011-505842(P2011-505842A)
【公表日】平成23年3月3日(2011.3.3)
【年通号数】公開・登録公報2011-009
【出願番号】特願2010-538266(P2010-538266)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/46　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　9/50　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ａ６１Ｋ　37/54
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　31/04
Ｃ１２Ｎ　9/50

【手続補正書】
【提出日】平成23年12月12日(2011.12.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
リウマチ、敗血症、関節炎、リウマチ様全身性エリテマトーデス、強皮症、抗糸球体基底膜病、神経系の自己免疫疾患、全身性エリテマトーデス、アジソン病、抗リン脂質抗体症候群、ＩｇＡ糸球体腎炎、グッドパスチャー症候群、ランバート・イートン筋無力症候群、特発性紫斑病、自己免疫性甲状腺炎、関節リウマチ、インスリン依存性糖尿病、天疱瘡、自己免疫性溶血性貧血、疱疹性デューリング皮膚炎、膜性糸球体腎炎、グレーヴス病、交感性眼炎、多腺性自己免疫症候群、多発性硬化症および／またはライター病から選択される炎症の治療または予防のためのＡＣＥ２または該タンパク質をコードするＡＣＥ２コード核酸。
【請求項２】
炎症が感染によって引き起こされるものである、請求項１に記載のＡＣＥ２またはＡＣＥ２コード核酸。
【請求項３】
タンパク質が組換えＡＣＥ２である、請求項１または２に記載のＡＣＥ２またはＡＣＥ２コード核酸。
【請求項４】
タンパク質が特に膜ドメインのない水溶性ＡＣＥ２である、請求項１～３のいずれか１項に記載のＡＣＥ２またはＡＣＥ２コード核酸。
【請求項５】
タンパク質ＡＣＥ２が哺乳動物、好ましくはヒト、マウス、ラット、ハムスター、ブタ、霊長類またはウシに由来するものである、請求項１～４のいずれか１項に記載のＡＣＥ２

またはＡＣＥ２コード核酸。
【請求項６】
リウマチ、敗血症、関節炎、リウマチ様全身性エリテマトーデス、強皮症、抗糸球体基底膜病、神経系の自己免疫疾患、全身性エリテマトーデス、アジソン病、抗リン脂質抗体症候群、ＩｇＡ糸球体腎炎、グッドパスチャー症候群、ランバート・イートン筋無力症候群、特発性紫斑病、自己免疫性甲状腺炎、関節リウマチ、インスリン依存性糖尿病、天疱瘡、自己免疫性溶血性貧血、疱疹性デューリング皮膚炎、膜性糸球体腎炎、グレーヴス病、交感性眼炎、多腺性自己免疫症候群、多発性硬化症および／またはライター病から選択される炎症の治療のための医薬組成物の製造のためのＡＣＥ２またはＡＣＥ２コード核酸の使用。